

KBハゼ500

■屋根30分耐火構造 FP030RF-0488 FP030RF-0633 FP030RF-0431 FP030RF-0632

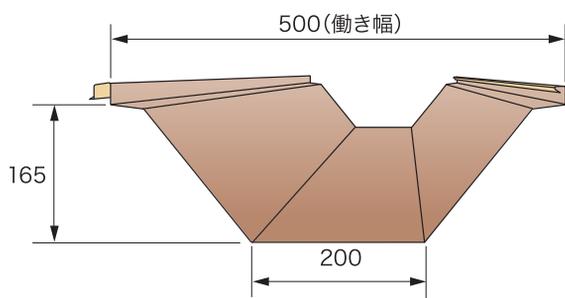
特長

- 幅広い建物に使用され、重量感のある屋根になります
- ボルトレスのハゼ締め工法で施工性に優れ、工期短縮に繋がります。

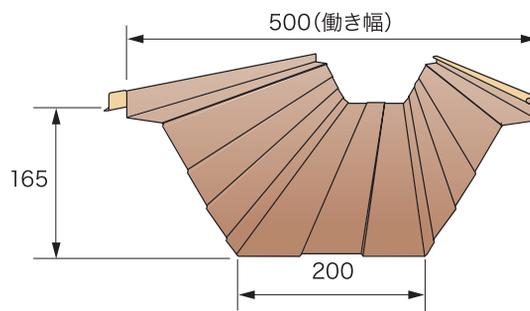
製品図

単位:mm

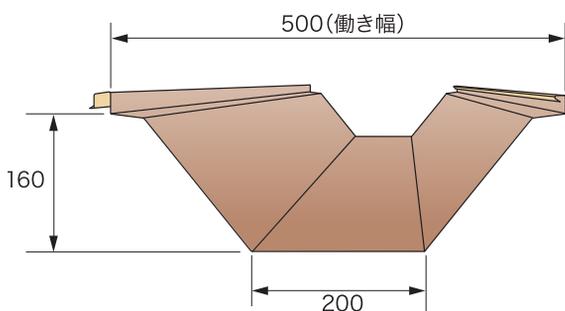
東北 BL 信州 BL 新潟 Aタイプ



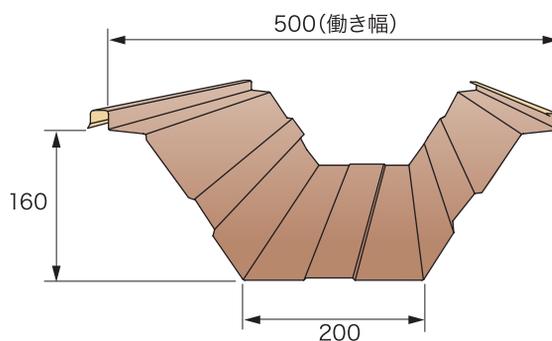
東北 BL 信州 BL 新潟 Bタイプ (リップ付)



関東 BL Aタイプ

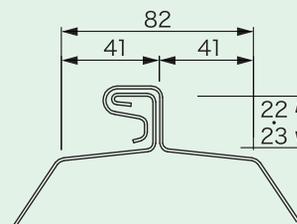
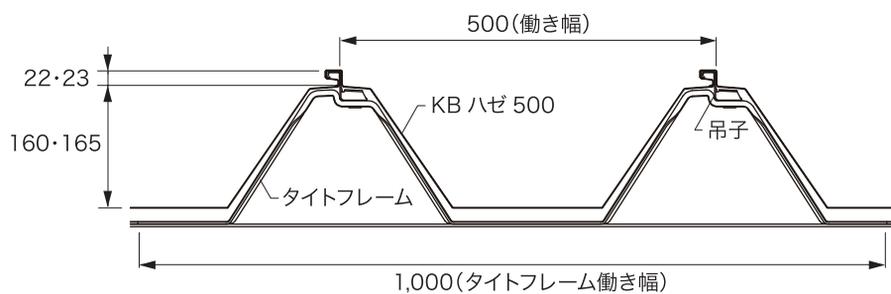


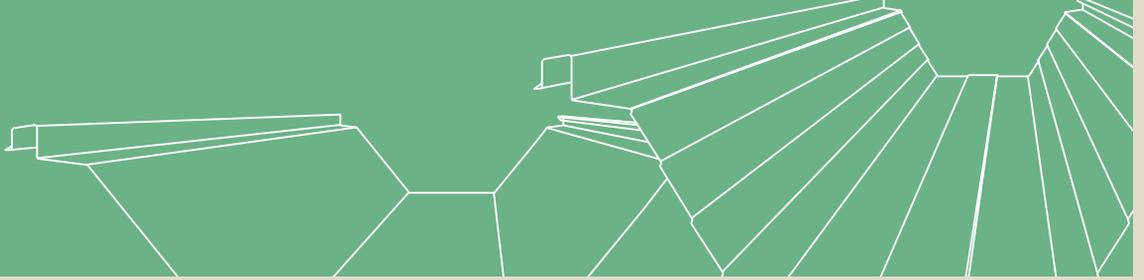
関東 BL Bタイプ (リップ付)



施工断面

単位:mm





製品仕様

原板幅	762mm
適正板厚	(0.6) 0.8~1.0mm
使用材料	GL鋼板、フッ素鋼板、アルミめっき鋼板、他
適正勾配	3/100以上
自然曲率半径	250m以上
m ² あたり必要m	2.00m

※勾配3/100未満についてはご相談ください。

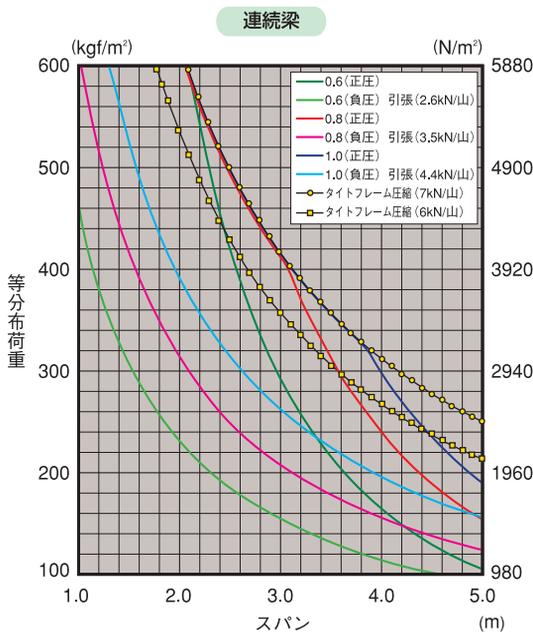
断面性能

GL鋼板

板厚	単位重量		正 圧		負 圧	
	kg/m	kg/m ²	lx(cm ⁴ /m)	Zx(cm ³ /m)	lx(cm ⁴ /m)	Zx(cm ³ /m)
(0.6)	3.74	7.48	(219)	(33.7)	(131)	(20.2)
0.8	4.94	9.88	292	45.1	190	29.3
1.0	6.13	12.26	365	56.2	237	36.5

※板厚0.6mmはご相談ください。

許容梁間 (参考)



〔備考〕

●左記の許容梁間は断面性能による計算値と、下記の条件を考慮したグラフです。但し、タイトフレームは当社指定品とします。

許容圧縮強度：7 kN/山 (シングル葺)
 : 6 kN/山 (ダブルバック工法)

許容引張強度：屋根材0.6mm厚の場合は 2.6 kN/山
 : 屋根材0.8mm厚の場合は 3.5 kN/山
 : 屋根材1.0mm厚の場合は 4.4 kN/山

但し、吊子引張強度は馳締め施工の良否により大きく左右されます。

●積雪荷重では、出来るだけ下記の限度内にてご使用下さい。

屋根材0.6mm厚：3 kN/m²以下
 屋根材0.8mm厚：4 kN/m²以下
 屋根材1.0mm厚：5 kN/m²以下

上記外でのご使用に際しては、別途ご相談下さい。

●折板の軒のはね出しは、折板山高の5倍以内でご検討下さい。

但し、雪庇・巻垂れ・氷柱に対しては別途ご考慮下さい。

〔注〕

多雪地・強風地域でのご使用には設計荷重の設定を十分ご考慮下さい。
 多雪地域での積雪の単位荷重は、積雪量が多く根雪が圧雪状態になる地域や融雪・氷結を繰り返す地域等においては、30~60N/m²の範囲で荷重が想定されます。特にダブルバック工法はシングル葺きに比べ屋根の融雪が遅く、重い積雪荷重(平均40~55N/m²)が1月~3月に渡り残りますので設定荷重には十分ご注意ください。
 尚、(社)金属屋根協会ではレベル係数(X=1.0~3.0)による割り増し荷重の設定を推奨しています。

注) 上記許容梁間は羽根付補強吊子使用で、参考値データであり保証値ではありません。



Note 付属部品は、P43~P48をご参照ください。

ホームページ <http://www.kyowa-kb.co.jp/>
 最新情報の閲覧や製品CADデータのダウンロードが行えます。